

## 21日 木曜

### へブル



11:1 さて、信仰は、望んでいることを保証し、目に見えないものを確信させるものです。11:2 昔の人たちは、この信仰によって称賛されました。

11:3 信仰によって、私たちは、この世界が神のことばで造られたことを悟り、その結果、見えるものが、目に見えるものからできたのではないことを悟ります。

11:4 信仰によって、アベルはカインよりもすぐれたいけにえを神に献げ、そのいけにえによって、彼が正しい人であることが証しされました。神が、彼のささげ物を良いささげ物だと証ししてくださったからです。彼は死にしましたが、その信仰によって今もなお語っています。

11:5 信仰によって、エノクは死を見ることなくのように移されました。神が彼を移されたので、いなくなりました。彼が神に喜ばれていたことは、移される前から証しされていたのです。

11:6 信仰がなければ、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神がおられることと、神がご自分を求める者には報いてくださる方であることを、信じなければならぬのです。

11:7 信仰によって、ノアはまだ見ていない事柄について神から警告を受けたときに、恐れかしこんで家族の救いのために箱舟を造り、その信仰によって世を罪ありとし、信仰による義を受け継ぐ者となりました。

信仰とはただ「信じ込む」というような感情的な面だけではありません。それは真実・忠実を表すビ

ストスという形容詞と関係していることばピステイスという名詞です。つまり信仰とは、信じた内容に対して真実に考え行動することであり、信じた方に対して忠実に歩むことです。このような生き方は、困難な現実の中でも将来の「保証」と「確信」をいただくことができるのです。

その信仰によって、「この世界が神のことばで造られたことを悟り、したがって、見えるものが見えるものからできたのではない」と悟るとありますが、これが「保証」と「確信」を生むものです。ですから神のことばを、私たちは祈りつついただくのです。

アベル、エノク、ノアの信仰の生き方に学びましょう。ささげ物に関して、神に喜ばれることを目指して、人々特に家族の救いのために、彼らを模範として、信仰によるならばどうすべきだろうかと、教えられ、それに真実に答え、忠実に実行しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

